

進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

【志望力の養成に向けて】

前号で伝えた通り、3年次では校内で5回の模試を実施します。(プレテストを入れると6回になります。)最初の模試は6月2日(金)、3日(土)です。第1志望は十分に固まっていますか？志望校は2年次から熟考してきていると思いますが、迷っている人はできるだけ早めに志望を固めて、志望力を保ったまま受験勉強に取り組みましょう。

表は49回生の第1志望の推移状況です。共通テストリサーチの第1希望または第2希望の大学を実際に受験した人のうち、模試5回・共通テストの間で第1志望に挙げた大学を何度変更したかを示したものです。変更回数0ということは3年次の1年間を通して第1志望を変更せず、その大学を受験したということになります。変更回数2以上の場合には一度変更して、また元に戻した場合も含まれています。

変更回数	人数 (49回生)
0	86人
1	42人
2	11人
3	8人
4	2人

共通テストリサーチ(自己採点後の出願希望校の合格可能性の判定)では、判定結果を見て第1志望を変更する人も少なくありませんが、本校生はリサーチの希望通りに出願する人が大変多いです。上の表の合計は149名あります。これだけの人がリサーチ通りに出願しているわけで、結構な高率です。

一般には一貫して第1志望にこだわる人のグループは合格率が高く、あまり考えもなしにしょっちゅう志望を変更する人は、足が地についた学習になっていないことが多いです。また、第1志望は自分の学力に合わせて決めるものではなく、自分の学力を第1志望に近づけていく努力をしなければなりません。この春合格を勝ち取った49回生の多くの人も、途中経過では第1志望に学力が追いついていない状態がずっと続きました。(毎回の模試ではDまたはE判定の人が過半数でした。)しかし、あきらめなかった成果は合格につながりました。「受験はあきらめたら終わり」です。

【定期考査の利用】

来週から中間考査となります。3年次では定期考査は1学期と2学期の計4回のみで、3学期には考査はありません。定期考査は授業内容の理解度(これが受験に直結します)を確認するためのものです。また、定期考査の問題はその時点で理解すべき事項のエッセンスです。

この成績が良くない人は、

- ① 予習-授業-復習のサイクルに歪みがあってうまく回っていない。
- ② 授業中の取り組み方に問題がある。

のいずれかと思われます。①の該当者は教科担当の先生によく相談して学習の進め方についてアドバイスをもらってください。②は大問題です。まず、毎時の授業に真剣に取り組まなければなりません。このタイプの人の多くは1・2年次から同じような状況が続いているため、回復には相当の覚悟が必要です。1秒でも早く心を入れ替えましょう。

【実力養成のために】

学習は毎日毎日の積み重ねなので、急に勉強したからといってすぐに成績があがるものではありません。去年・一昨年のがんばりが今になって表れてくことも珍しくありません。受験は長期戦です。経過を見て反省することや方針を調整することは大事ですが、そのときそのときの結果に合わせて志望を変えるのではなく、第一志望を貫き通す(=志望力を維持する)ことが大切です。

